

キャラクター名
長門 晶 (ながと あきら)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス キュマイラ		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	UGN支部長
オプショナル			年齢	24	性別	女性
覚醒	死	衝動	破壊	初期侵食率	34	%
出自	資産家	経験	古強者	邂逅	慕情	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	4	0	0			4	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	0	1	0			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	4		調達	4	
運転:			芸術:			知識:	2		情報:	UGN	4
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
両手剣	白兵	4r+1	3	10		セットアップ移動がない場合
壱式		0				
貳式		0				
参式		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	
ウェポンケース	
リーダーズマーク	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス《変異種》	P	N		
新入り(経験:古強者)	P 庇護	N 憐憫		
父親(出自:資産家)	P 連帯感	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ターゲットロック	3	3	セット	視界	単体	自動	-	
効果: 対象への攻撃力+Lv*3、シーン持続								
コンセントレイト [モルフェウス]	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv								
攻勢変色	3	3	セット	視界	単体	自動	リミット	
効果: ターゲットロックの攻撃力+Lv*5、暴走する								
クリスタライズ	3	4	メジャー	-	-	対決	100↑	
効果: 攻撃力+Lv*3、装甲無視								
カスタマイズ	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: ダイス+Lv個								
ドッペルゲンガー	3	5	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: ダメージ+5 ガード不能								
サポートデバイス	5	6	セットアップ	至近	自身	自動	80↑	
効果: 【肉体】ダイス+Lv*2個、シナリオ3回								
パーフェクトコントロール	1	4	オート	至近	自身	自動	80↑	
効果: 達成値+10、HP-5、シーン1回								
壁抜け	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 壁抜けできる								
折り畳み	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: Lv個の物品を折り畳んで隠しておく								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

UGN-T都支部の支部長を務めるパンツスーツの似合う女性
父が資産家であり、UGNへ多額の投資を行っている。
そのためにFHの構成員によりUGNへ協力することへの警告として当時13歳であった晶は中学校の帰り道に殺害されてしまった。しかし晶はオーヴァードとして覚醒し、蘇生していた。
この一件から逆にFHへの怒りを募らせた父はUGNへの投資額を増加させることとなった。

オーヴァードとして覚醒してしまっただけで、学校に通いがてらUGNチルドレンとして活動することとなる。高校、大学と卒業し、本格的にUGNエージェントとして活動を行っていた晶はその資産家の娘であるが故の地元での顔の広さ、ある種冷酷とも言える性質を買われて支部長として働くこととなる。支部長とは言ったものあまり自分に向いていると思っていないため、自分のことを『なんちゃって支部長』とか思っている。

基本的に明るい性格であり、身内への面倒見も良い。特に自分が気に入った相手には非常に甘くなる。その一方、敵や身内に害を成すものと判断したならば即座に排除しようとする。その苛烈さ、冷酷とも言える行動指針から身内にも恐れられたりしている。

18歳からひとつ年上の先輩と恋人関係になっていた。晶は好意を隠そうとせず恋人に接していたため、周囲にもその関係は知れ渡っていた。しかし晶が20歳の秋ごろに共同の任務を終えたとき恋人は限界を超えてしまいジャーム化してしまった。その際に真っ先に動き、一瞬の躊躇もなく一撃で首を跳ね飛ばし、頭部を晶化させて粉々に粉砕し己の手で彼を殺害した。一切の容赦もない流れるようなその所業をみた同僚は彼が死んだ哀しみもあつたが、想い人であろうとも即座に処断する晶への畏怖も色濃かった。支部長になって以降、ジャーム化したエージェントは可能な限り晶が処理している。これは自分の経験から、『親しかった人間を手にかけるのは辛いだろう』という晶なりの気遣いであり、『ジャーム化したならば容赦なく処理される』という恐怖の楔でジャーム化を抑えるための行動でもある。

自分が女性としては身長が高いことを気にしており、あまりスカートや女性らしい服装は身につけない。デカイとか言われると軽く怒る。呑み屋でしょっちゅう春日恭二に遭遇する。呑み屋で飲んでいる時はプライベートなのでわりと普通にあなたも大変ねとかダべったりする。